

Funehiki High School News vol.95

◆恒例の片曾根山登山

5月22日、1年生が恒例行事である片曾根山登山を行いました。この日は絶好の登山日和で、山頂では美しい景色を眺めながら、楽しいひとときを過ごしました(写真上)。

また、昨年度に引き続き、福島県立博物館の学芸員の方に「片曾根三十三観音(市指定史跡)」について講義いただきました。生徒たちは真剣な面持ちで聞き入っていました(写真下)。



◆田村の五月祭で演奏・演舞



5月24日、吹奏楽部とよさこい部が、船引駅前公園で行われた「田村の五月祭」ミニコンサートに参加しました。吹奏楽部は「ジブリコレクション」など4曲を演奏しました(写真上)。よさこい部は「ヨッシャ来い!」など3曲の演舞を披露しました(写真下)。天候にも恵まれ、日頃の練習の成果を披露する良い機会となりました。



◆携帯電話を安全に使おう

5月29日、第一体育館で携帯安全教室が開かれました。田村警察署生活安全課の方に「SNSとの上手な付き合い方」という題目で講義いただき、生徒たちはスマートフォンを使う危険性を学んでいました。



◆船引高校同窓会だより



船引高校同窓会東京支部総会が5月31日、上野のホテルパークサイドで行われ、関東在住の同窓生が久しぶりに再会しました。関東圏にお住まいの同窓生の皆さま、次年度の参加をお待ちしています。

東京支部に関する問い合わせは、船引高校事務局までお願いします。住所変更があった場合も併せてご連絡ください。

◆27年度同窓会総会開催予定!

- 日時 8月15日(土)午後2時～
- 会場 ウェディングプラザ丸美
- 問い合わせ 船引高校同窓会事務局 (船引高校内)



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<http://www.funehiki-h.fks.ed.jp> mail...school@funehiki-h.fks.ed.jp



ニューヨークの生活から
田村の生活へ

Carly Matthews

カーリー・マシューズさん
(アメリカ合衆国
ニューヨーク州出身)

海	を	越	え	て
英	語			
	指	導	助	手
ペ	ン	リ	レ	ー
			No.	25

車のクラクションやパトカーのサイレンが聞こえます。グリルで焼いているホットドッグやハニーナッツをいためる香りがします。魚の群れのような人ごみの中、先を急ぐ人々が行き交う通りを歩いていると、涼しく爽やかなそよ風を感じます。ショーの巨大テレビ広告に囲まれたタイムズ・スクエアが見えてきます。有名なブロードウェイの大型広告を見ていると、コメディ・ショーのメンバーがチケットを売ろうと近寄ってきます。通りには、フォーエバー21やディズニーなど、お気に入りのお店があり、体内から興奮がわき上がってきます。夜になると、マンハッタンの桟橋から高層ビル群が立ち並んでいる灯りが見え、水面にはビルのシルエットが映っています。

私が生まれ育った素晴らしい町、大都会ニューヨークです。

鳥のさえずり、カエルの声、子どもたちの遊ぶ声が聞こえます。刈ったばかりの若草のにおいが、そよ風に運ばれてきます。次の週の買い出しをするために商店へ自転車を走らせると、風の暖かさを感じます。その時、年配の女性が歩いているのを見かけたり、川のそばで自然の美しさに見とれている男性を見かけたりします。

私は今、船引にいます。春には、満開に着飾った桜の木々が美しく、それを映しながら川が流れていきます。川に浮かんでいる鴨を見ながら、私は自分に問いかけます。いま見ているすべてのものに、自分がどれほど惹かれているかと。

ニューヨークは、テンポがとても速いです。それに比べると、田村はテンポがゆっくりに感じます。私は、どちらかが良いとは思いません。どちらにも良さがあることを、私は分かってきました。

ニューヨークでは、特にラッシュアワーの時には、駅や道は人であふれます。その時、人々の頭の中には仕事や帰宅しかありません。田村では、人々は自然を散策して楽しんでいます。また、この町のほとんどの人は、道路を横切る時、車が通っていないなくても、信号が変わるまで渡りません。このことは、人生は常に「進め、進め」だけでなくともいい、と気づかせてくれました。

ニューヨークではさまざまな情報をインターネットから得ていましたが、田村では誰かが教えてくれます。ニューヨークは混雑していろいろな騒音が絶えませんが、それに比べると田村はほんとうに静かです。

私はこの小さな町、田村が大好きです。生徒といろいろな場所で触れ合いますが、密接につながっていることを実感しています。田村で生活しているうちに、ガーデニングや自然への愛情が強くなってきています。大都市ニューヨークから田村に来て、私は自然や人とのかわりを経験することができました。とても感謝しています。外国での生活は、自分自身や人生、そして神様について、多くのことを教えてくれます。

私が田村に住んでいることは、神様の特別なはからいなのではないか——そのように感じています。

